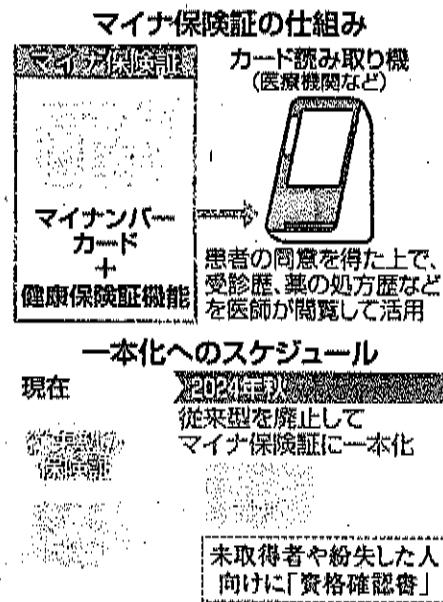


マイナ不信、増幅

マイナンバーを巡るトラブルが底なしの様相を呈している。年金情報を別人のマイナンバーにひも付けるシステムが新たに評議し、国民の不信感は増幅する一方だ。野党や医療現場からは来年秋の健康保険証廃止に批判が集まり、撤回を求める声が強まっている。【一面に本記】

トラブル底なしの様相



マイナ保険証の仕組み
「人為的なミス」「年金支給額に影響はない」。岸田文雄首相は12日の衆院委員会で説明に追われた。ミスがあり、公務員らを除く年金情報を管理する日本年金機構では問題は確認されていない。ただ業務を行う地方職員共済組合は「年金情報を漏洩してしまった」と危惧する。

マイナンバーはトラブル続きた。カードに保険証機能を持たせたマイナ保険証に個人情報をひも付けた問題を巡り、加藤勝信厚生労働相は12日、国会で「國民に心配をおかけし申し訳ない」と重ねて陳謝。河野太郎デジタル相は「保険証とのひも付けにマイナンバー提出義務付けたとして「新たな誤謬は起らない」と次第に回った。

△苦い経験
「人為的なミス」「年金支給額に影響はない」。岸田文雄首相は12日の衆院委員会で説明に追われた。ミスがあり、公務員らを除く年金情報を管理する日本年金機構では問題は確認されていない。ただ業務を行う地方職員共済組合は「年金情報を漏洩してしまった」と危惧する。

命。マイナカード所持者の専用サイトで年金の加入履歴や受給額を確認でき、実際に情報が閲覧された。

前身の旧社会保険庁は、保険料納付記録のすばんな管理による「消えた年金」などの問題で批判を浴びた苦い経験がある。総務省幹部は「年金情報の流出が広がれば大騒ぎになる」と危惧する。

マイナンバーはトラブル続きた。カードに保険証機能を持たせたマイナ保険証に個人情報がひも付けた問題を巡り、加藤勝信厚生労働相は12日、国会で「國民に心配をおかけし申し訳ない」と重ねて陳謝。河野太郎デジタル相は「保険証とのひも付けにマイナンバー提出義務付けたとして「新たな誤謬は起きない」と次第に回った。

表面化

保険証一本化 強まる批判

全国保険医団体連合会（東京）の調査で、マイナ保険証を受け付ける開業医の約65%が「トラブルがあった」と回答した。システム不具合など無理抜きとなつた患者を請求した事例もあり、医療現場で「立腹した患者から苦情を受けた」と混乱が広がる。

連合会の住江憲男会長は「マイナ保険証のシステムが継続されているのが驚きで、慣れを覚える。即刻停止するべきだ」と訴える。

相次ぐトラブルは医療事業にも影響を及ぼしている。

神奈川県平塚市は公的給付金支給で、マイナンバーとともに付いた要取口座の利用を当面停止した。市民の不安感に配慮したといい、担当者は「申請書に口座情報を記入してもうなじ従来の方法を探りたいと思う」と語る。

山口大の立山絢教授（情報法）は「連の問題について、「政府がマイナンバー制度の利活用に前のめりになりすぎた結果」と指摘する。

立山の栗健太代表は「拙速に進めてきた政府の責任」に照應を合わせる。河野氏は自身の処分に言及しているが、「トラブルに見合った対応が必要だとして、不信決議案提出ならの可能性をちらつかせる。

野党は、保険証を廃止してマイナ保険証への一本化を進め、政府に批判の矛先を向ける。保険証廃止後、マイナ保険証がない人は資格確認書の発行を受け、保険診療を受ける。「資格認書を取得できない人は無保険、全額自己負担になる。高齢者を中心に該当する人は多い」。12日の衆院審議会で立憲民主党的袖木道義衆議院議員は、しわ寄せを受けていた。共産党的田村智子政策委員長も「いったん運用を止め、問題解決に集中する」よう求めた。

▼情

▼医機説